

① 歯・口腔機能の維持向上について

産業厚生常任委員会は、さる7月に口腔ケアについて先進地視察を行いました。私自身、視察したことにより、口腔ケアの重要性について認識を新たにしたところです。そこで以下の細目について見解を伺います。

- (1) 現在、本町における口腔機能の維持・向上についての対応と成果は（概略で）どうなっていますか。
- (2) 青年期、壮年期以降の啓発が重要と考えますが、本町の取り組みはどのようなになっているのでしょうか。

② 学童保育・放課後児童クラブの職員配置基準の一部緩和の対応について

国の法改正により、放課後児童支援員の配置基準の条例化に当たって、従うべきとしていた基準を参酌する基準に変更するものとされました。

これに対して、関係団体、関係者から不安や懸念の声が出されています。児童が少ない場合を想定しているとはいえ、想定外の緊急時や、突発的な出来事があった際、単独で子どもを安全に守れるのかと言う現場の声だと考えます。

本町は配置基準の条例化について、どのように考えているのか伺います。

③ 小・中学生の電子機器（スマートフォン・タブレット端末など）の利用と対応について

新聞報道によりますと、文部科学省は携帯電話、スマートフォンについて「小・中学校は持ち込み原則禁止」という指針を見直す方針を示し、教職員や保護者の意見を聞き、来年度中に新たな指針を作るとのことです（朝日新聞記事より）。

学校への持ち込みは、児童生徒と保護者の連絡など、肯定的な面もある一方、紛失・盗難、いわゆる「スマホ依存症」を助長するのではないかと懸念をもちます。また、スマホ依存症はSNS依存、ひいては睡眠時間の低下、学力への影響、目など身体的負荷、直接的なコミュニケーションの希薄化など、課題や懸念する点もあると考えます。これに関連し、社会教育の視点から、子どものスマホ利用のあり方をPTAなどと連携し、適切な使用方法を啓発していくことも課題と考えます。

- (1) 本町はこうしたメリット・デメリットを含め、どのように対応していく考えかをうかがいます。
- (2) 児童生徒の電子機器の利用、インターネットの利用状況など、調査したものがあれば内容を伺います。